

# 委員会会議録

(社)滋賀県トラック協会

会議名	平成24年度 第3回 適正化事業運営委員会
開催日時	平成24年12月12日(水) 13:40~16:00
開催場所	滋賀県トラック総合会館 3F「研修室1」
出席者	委員:11名、事務局:4名

協議内容
<p>1.挨拶 定刻より10分遅れで始まり、委員長より開会にあたり挨拶があった。</p> <p>続いて、岡田本部長より挨拶があった。</p>
<p>2.議題</p> <p>(1)適正化事業実施状況について 巡回指導結果等について 原価意識向上のためのセミナーの開催 会員拡大について</p> <p>事務局より資料に基づき説明。</p> <p>(2)当面する事業に取組み 安全性評価事業者の推進について</p> <p>事務局より資料に基づき説明。以下の質問等があった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・Gマークの取得率はどれくらいか問われた。</li></ul> <p>認定率では16.9%。(会員ベース 20%) 今年度新規申請事業所が認定されれば全部で200事業所になる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会長から、全国的に指導員のレベルを上げ、Gマーク制度を充実させ、それを活用した更新制的な意見が全日本トラック協会の会議で議論されている旨報告された。</li><li>・更に、来年度の新規認定事業所を50社上乗せするには、どうすれば良いか指導員に意見を求められた。</li></ul> <p>毎年2%増えている中で50事業所は厳しい。20~30社が妥当。</p> <p>認定事業所で改善に積極的な事業所については巡回すると良いが、中だるみの事業所が多く見られ、レベルを維持していくことが重要。</p>

県下のレベルは上がっているので、個別指導を重点的に進めると良いと提案された。

各支部での説明会の開催等でPRの場を多くしていく。

(各支部に意見を求められた。)

Gマークの取得メリットを問われる。

Gマークのアピールの必要はあるが会社の価値観が違う。また、取組みに対して温度差がある。

説明会を開催して欲しいとの意識を持った。

国との連携の更なる強化を講じると言われているので、処分の厳格化を進めて貰い、各支部でPRを高めていくと良い。

Gマークを各支部で共通の取組みをし、1年を通じて計画的に行う必要がある。

Gマークのメリットについて、説明して欲しい。

・上記意見等を踏まえ、各支部において、講習会内容に対するニーズも違うので適正化次長が各支部からの意見を取り纏め調整の上、事務局の者が定例会に出席して対応することと決定した。

### (3) その他

#### 運輸安マネ業態別シンポジウムについて

事務局より資料に基づき説明。1月29日に開催されるシンポジウムについて委員全員出席で了承された。

#### 参考資料

- ・ビジョン検討会のWG報告書について
- ・マネジメント情報公表用ボードの活用について

事務局より資料に基づき説明。ボードについては26日に完成し、来年1月から配布するとの報告があり、了承された。

・運行管理者講習会の開催案内について、来年度以降、事故対策機構から案内されなくなったので、協会ですて貰えないか、質問があった。

データが貰えれば出来るので次回までに確認することと決定した。

次回は来年2月18日午後1時30分から開催。

以上